

# 県有資産総合管理方針の概要

- ◆ 目的 : 県有資産をより効果的・効率的に活用していくための基本的な方向性を示す
- ◆ 対象 : 庁舎や学校などの建物、道路・橋梁などのインフラ施設など県が所有する全ての県有資産(公営企業を含む。)
- ◆ 位置付け : 平成26年4月に総務省から策定要請のあった「公共施設等総合管理計画」に相当するものとして策定
- ◆ 期間 : 平成27年度から概ね10年間を対象期間とする

## 県有資産の現状と課題

### ○ 県は膨大な量の資産を管理

庁舎などの建物	9,148棟	604万㎡
インフラ施設	【道路】	332路線 2,793km
	【橋梁】	2,505橋
	【河川】	151河川 1,412km
未利用資産		95万㎡

### ○ 県有資産の老朽化が深刻化

- ・建物のうち45%以上が築30年を経過
- ・橋梁の35%以上が架橋から50年以上経過

### ○ 急速に進む人口減少・少子高齢化

- ・県人口はH42に700万人程度とピーク時に比し20万人以上減少
- ・高齢化率もH42には約30%に達する
- ・人口減、高齢化により施設の利用需要の変化が見込まれる

### ○ 厳しさが増す県財政

- ・施設の維持管理費が増加し財政が硬直化
- ・このままでは現有施設の維持更新ができなくなるおそれ

建物の維持更新費用

(平成55年まで)

**1兆7,568億円**

平均負担額  
(単年度)

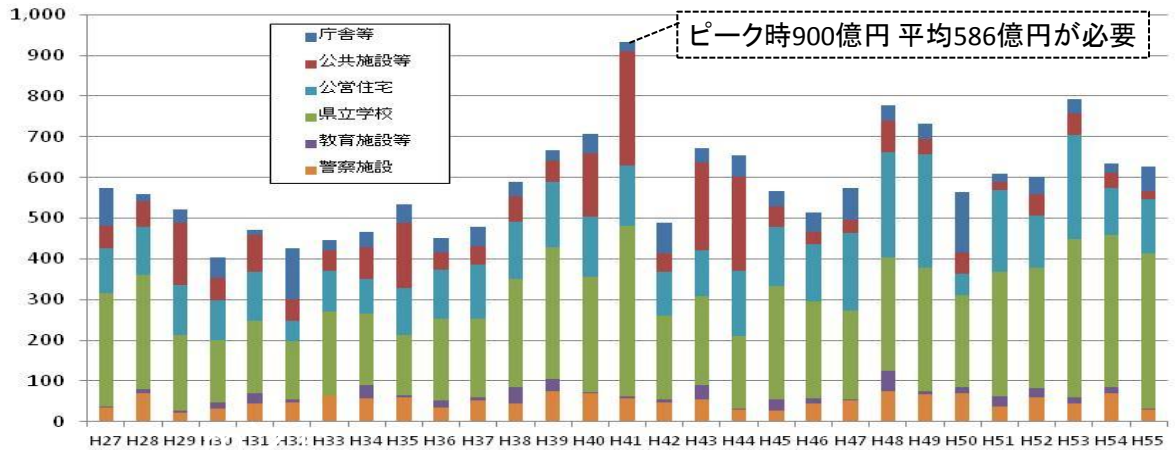
295億円  
(H25予算ベース)

約2倍

**586億円**

単位:億円

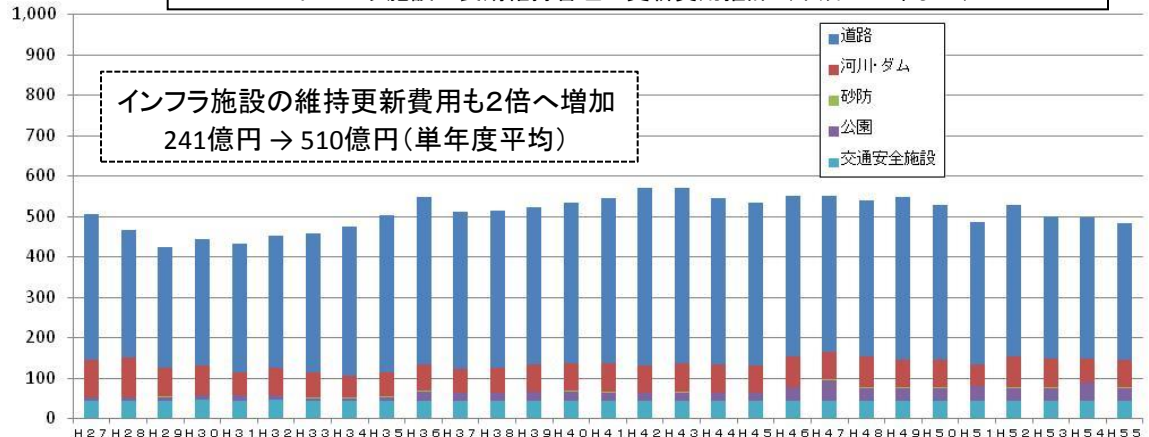
建物（一般施設）の長期維持管理・更新費用推計（平成55年まで）（65年建替えの場合）



(県有施設の中長期修繕計画（平成26年3月28日策定）)

単位:億円

インフラ施設の長期維持管理・更新費用推計（平成55年まで）



# 基本的な考え方と取組方策

## ファシリティマネジメント

老朽化問題など県有資産の様々な課題に対応するため、ファシリティマネジメントに取り組む

- 「施設ありき」ではないタテ割りを排した総合的な視点
- ライフサイクルコストの分析など長期的な視点
- サービス水準・費用対効果の検討など経営的な管理

- 良質なサービスを最小のコストで安定的に供給
- 県民ニーズに柔軟に対応

総合的、長期的な視点  
+  
経営的管理



## 目指すべき将来像

### 良質な県有施設を次世代に引き継ぐ

- 適切に管理された県有資産が県民共通の財産として将来に引き継がれている
- 老朽化対策が計画的・効果的に実施され良質なサービスが提供されている

### 効率的に多様化する行政需要に対応する

- 柔軟な施設運営により多様化する行政需要に効率的に対応している
- コストとサービス水準のバランス等の問題意識が共有され、選択と集中による費用対効果の高い施設運営が行われている。

### コストを縮減し健全な財政運営を図る

- 県有資産の管理運営費用が最適化されている
- 経費が平準化され持続的な財政運営が可能となっている

## 長期的な目標

### ◇新規施設整備の抑制

- 建物の新設は真に必要なものに限る
- 将来的に利用が見込めない施設は、集約化等を検討し施設総量の削減に努める

### ◇財政負担の平準化

- ライフサイクルコストの縮減を図る
- 県有資産の一層の利活用により収入の確保を図る

### ◇新たなニーズへの効率的対応

- 施設の多機能化や民間との協働等により最小のコストで新たなニーズに柔軟に対応する

## 主な取組方策

### 1 県有資産の長寿命化

- 予防保全による長寿命化の推進
- 長期保全計画の策定
- 予算と連動した効果的な予防保全の実施
- 点検マニュアル等の整備
- 新技術の導入、民間ノウハウの活用 など

### 2 県有資産の有効活用

- 施設の多機能化
- 余裕スペースの洗い出し、貸付
- 処分が困難な未利用資産の貸付 など

### 3 県有資産のスリム化

- 未利用資産の処分
- 施設アセスメントの実施
- 施設の転用、複合化の検討
- 老朽不要建築物の除却 など

## 今後の取組

### 全庁的な推進体制の構築

- ◆ 部局横断的な組織を新設
- ◆ ファシリティマネジメントの全庁的推進・方針の進行管理

### 資産類型別個別計画の策定（建物）

- ◆ 施設アセスメントを実施し施設ごとの管理方針を決定
- ◆ 予防保全の実施などより具体的な取組方策の決定
- ◆ 将来的な施設の統廃合、転用等を検討

### 長期保全計画の策定

- ◆ ライフサイクルコストに配慮した長期の修繕計画を施設ごとに策定
- ◆ 予防保全を計画的に実施